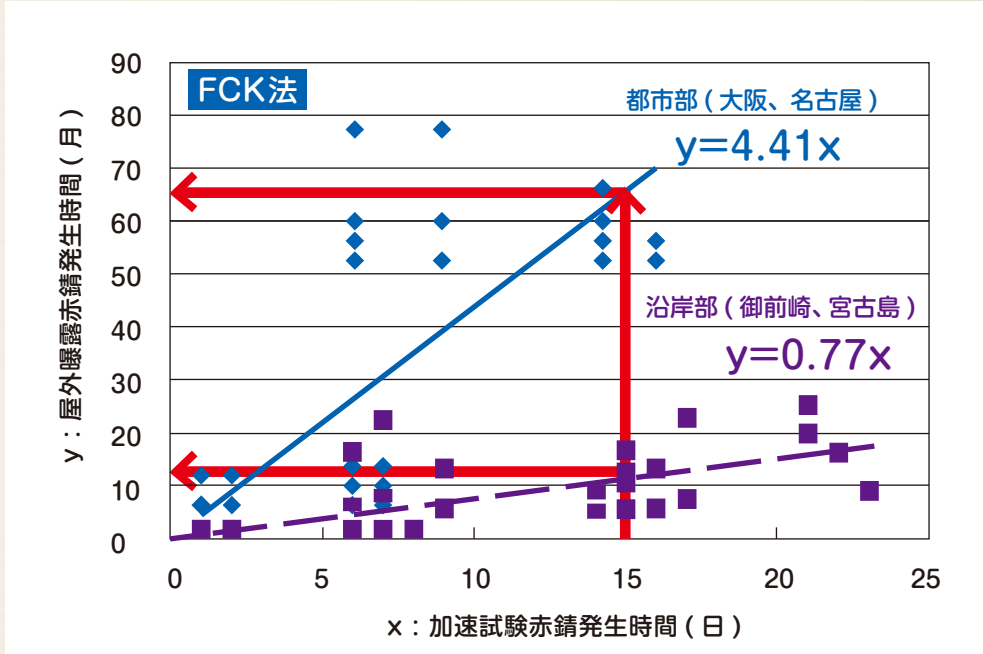


FCK法は塩水噴霧法より屋外曝露試験に近い

噴霧溶液：0.5wt%NaCl+0.1wt%CaCl₂+0.0001N(H₂SO₄) (溶液≒pH4)

1サイクル：噴霧 (50±1℃、16時間)→乾燥 (50±1℃、湿度20～30%、8時間)

試験装置例：複合サイクル試験装置 (スガ試験機株製、型式：ISO-3-CYR)



例えば FCK 法で加速試験し、15日で赤錆が発生するねじは、
大阪では 66ヶ月後、御前崎では12ヶ月後に赤錆が発生すると推定できる

